

学習指導要領		都立小金井北高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代の政治</p> <p>現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心を高め、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解させるとともに、民主政治の本質について把握させ、政治についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 民主政治の基本原則と日本国憲法</p> <p>日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観させるとともに、政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治などについて理解させ、民主政治の本質や現代政治の特質について把握させ、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察させる。</p> <p>イ 現代の国際政治</p> <p>国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握させ、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。</p>	<p>民主政治の基本原則である社会契約説について理解し、民主政治を支える制度[法の支配・権力分立・間接民主制]についてその意義を理解させる。そして、政治体制の比較をふまえ、明治憲法体制の特徴を把握し、第2次世界大戦後の日本国憲法体制についての理解を深める。</p> <p>まず、日本国憲法の成立過程と基本的原則をおさえた上で、基本的人権の保障に関しては、条文をふまえ重要な判例を理解させる。平和主義については、憲法9条と裁判、日本の防衛政策の変遷を把握する。</p> <p>日本の政治機構については、国会・内閣の権限、組織について正確に理解できるようにし、裁判所に関しては裁判の仕組み、重要な判例についてふれ、近年の司法制度改革についてもふれる。</p> <p>地方自治の民主政治における意義をふまえ、政党政治・選挙制度については、特に現在の日本の選挙制度について正確に理解できるようにする。</p> <p>国際社会の成立と発展、国際法の意義をふまえ、勢力均衡政策から集団安全保障方式への移行について理解させる。その際、第1次世界大戦後の国際連盟の問題点をおさえ、第2次世界大戦後の国際連合の主要機関、専門機関の役割を把握させる。その後、戦後の国際政治の展開を冷戦期・冷戦後の重要事項をふまえ、概観する。核兵器をめぐる戦後の展開、地域紛争については、重要事項について具体的に理解できるようにする。</p>	

学習指導要領		都立小金井北高校 学カスタンダード
<p>(2) 現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解させるとともに、その特質を把握させ、経済についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 現代経済の仕組みと特質</p> <p>経済活動の意義、国内経済における家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働きについて理解させ、現代経済の特質について把握させ、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる。</p> <p>イ 国民経済と国際経済</p> <p>貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について把握させ、国際経済における日本の役割について考察させる。</p>	<p>経済活動の意義をふまえ、資本主義経済の成立・発展、特徴について理解させる。その際、スミス・マルクス・ケインズの資本主義分析にふれる。その後、国内経済における家計・企業の働きをおさえ、市場経済の仕組みを理解する。そして、経済活動をはかる指標について正確に把握できるようにする。財政・金融の仕組みと役割に関しては特に日本の現状を具体的に理解させる。</p> <p>貿易の意義に関しては、リカードの比較生産費説を正確に理解できるように努める。外国為替相場・国際収支の理解をふまえ、戦後の国際経済の展開を概観する。GATTからWTO、さらに近年のFTA・EPAの動き、国際通貨体制の変遷については、重要事項を理解できるように留意する。</p>	

学習指導要領		都立小金井北高校 学カスタンダード
<p>(3) 現代社会の諸課題</p>	<p>政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題を探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深めさせる。</p> <p>ア 現代日本の政治や経済の諸課題 少子高齢社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働を巡る問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p> <p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題 地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p>	<p>日本の少子高齢化の現状を正確に把握し、社会保障や労働問題への影響・対策について理解させる。さらに、第2次世界大戦後の産業構造の変化について概観し、中小企業をめぐる問題、農業・食糧問題の現状を理解できるようにする。</p> <p>地球環境問題については、特に温暖化問題の歴史と現状[最近のパリ協定にいたるまで]を理解させる。資源・エネルギー問題、南北問題についても現状と課題をふまえ、日本の立場と役割について考えさせる。</p>